

「小児心臓 CT における冠動脈の描出能に影響を及ぼす因子の解析」へ ご協力をお願い

ー2014 年 1 月 1 日～2015 年 3 月 31 日までに当院で小児先天性心疾患に対して心臓 CT を受けられた方へー

研究機関名 岡山大学

責任研究者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻 腫瘍制御学講座 放射線医学分野
准教授 佐藤 修平

分担研究者 岡山大学病院 放射線科

医員

蟹江 悠一郎

助教

多田 明博

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻 腫瘍制御学講座 放射線医学分野
教授 金澤 右

1. 研究の意義と目的

先天性心疾患の患者さんでは冠動脈（心臓を栄養する動脈）に異常を伴うことが多いので、治療前に冠動脈の評価を行うことはとても重要です。かつては小児の患者さんでは CT による冠動脈評価が難しかったのですが、近年の技術の進歩により CT でも冠動脈評価が可能となりました。しかしながら、冠動脈の描出のされ方は個人差がある他、CT の撮像方法によっても異なります。患者さん毎に最適な撮像方法を選択するためには、冠動脈の描出のされ方に影響を及ぼす因子と、因子毎の影響の程度を明らかにすることが必要と考え、私たちはこの研究を計画しました。

2. 研究の方法

1) 研究対象：

2014 年 1 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日の間に岡山大学病院で 128 列 dual source CT (SOMATOM Definition Flash) を用いて心臓 CT を受けられた先天性心疾患を有する患者さんのうち、6 歳以下の方を対象とします。約 220 名が対象になるものと見込んでいます。

2) 研究期間：

平成 27 年 6 月開催の倫理委員会承認後から平成 30 年 3 月 31 日

3) 研究方法：

研究者が 2015 年 3 月 31 日までに存在する研究対象患者さんの診療情報から下記の調査票等に記載されたデータを収集します。その後、心臓 CT における冠動脈の描出のされ方を点数で評価し、どのような因子と関連があるかを、統計学的解析を用いて検討します。

4) 調査票等：

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報情報は削除・匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、体重、心拍数（心電図より収集）
- ・ 胸部単純 X 線、心臓 CT 検査（鎮静の有無、造影剤投与法、被曝線量を含む）、超音波検査、冠動脈造影検査

5) 情報の保護：

調査情報は岡山大学病院放射線科内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御され

たコンピュータに保存します。調査結果は個人を特定できない形で関連学会や論文で発表する予定です。尚、ご本人やご家族が希望された場合には結果を開示致します。

研究終了後は研究の信頼性確保のため、研究に用いられたデータを岡山大学病院放射線科医局のコンピュータ内で5年間保存させていただきますが、保存期間終了後にコンピュータ上から削除いたします。

研究計画書をご覧になりたい場合やこの研究についてご質問等がある場合は下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成27年12月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。ご協力の程よろしくお願い致します。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 放射線科

氏名：蟹江悠一郎

電話：086-235-7313 ファックス：086-235-7316